

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	社会福祉法人神港園レインボー西宮放課後等デイサービス				公表日	2026/2/28
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		定員10名に対し職員を5～6名配置。職員対児童の比率が1:2になるよう配置している。	配置基準を割るような配置になることはない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		高齢者施設併設の為、段差などは特にない。	日々の清掃については改善、課題がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○	○		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室スペースを2か所設置しているため、必要に応じて活用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		業務ノートや、課題の共有時間を設け情報共有と改善に取り組んでいる。	毎月のフロア会議で日々の情報取りまとめたものを共有、振り返りをしている。職員向けには半年ごとの面談にて各職員の目標設定と次期に向けての改善に取り組んでいる。業務だけでなく、「集団活動について」のPDCAができるとよい
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケートの結果をフロア会議などで共有し、課題の把握と課題の抽出に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		管理者、フロアリーダーと定期的な面談の場を設定している。改善事項があればその都度、検討し取り組みを行うようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		西児連にて他事業所との相互評価を実施。	第3者機関への外部評価は実施していない。今後検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事業所内での支援マニュアルを策定し、定期的にSSTやABAなどの研修を実施している。	日々の支援の振り返りや外部、オンライン研修などへの参加を検討していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者から情報を聞き取り、アセスメントシートを活用しながら計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		日々のモニタリングに加え更新月には職員間で課題の抽出や今後の支援に方向性を確認する会議の場を設定している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		大きなイベントなどはチームで立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎日の集団遊びの活動は、職員が日替わりで担当し、多様な活動を提供している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団での活動が難しい場合や、難しい児童には個別での活動を提案し柔軟に対応している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		児童を受け入れる前に、活動の確認、来所児童の様子確認に取り組んでいる。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		特に申し送りが必要な場合には、送迎終了後に情報を共有している。	連絡ノートを活用したり、ケース記録での詳細記入で支援の内容については共有を図るが、支援の実施後に行う時間はなく翌朝にモニタリング、申し送りを実施する。必要があれば口頭で実施。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	○	児童の様子はなるべく細やかに記入している。（連絡帳は電子化）	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	○	日々の支援に関しては毎日チェックを行い、定期的にモニタリング会議を設けている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	○		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		独自で作成している「支援マニュアル」に"子ども主体"という項目を掲げていることもありある程度の選択肢を提示しながら自己決定ができるように促している。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管、フロアリーダーが出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		各学校の先生とも連携をしながら、伝達漏れがないよう取り組んでいる。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		将来に向けて資格取得を目指す児童へ研修センターの担当者の方に受講前に面談の場を設定して頂き、児童の特性や課題を共有した	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		未来センターや、子ども家庭支援課の担当者との連携し、適宜助言をもらっている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○			地区の社会福祉協議会の会議に参加。地域内での課題の共有、連携に取り組んでいる。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			実施できていない。保護者からのニーズはあるので実施を検討していく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用契約時、また適宜説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。		○		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談をし易い関係づくりを大切に、事業所内相談を実施している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	父母会自体はない。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情対応についてのマニュアル、体制を整備している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		2ヶ月に1回紙媒体での会報で発信している。	SNSについてはアカウントはあるが、活用はしていない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き書庫で保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		避難訓練や防犯対応については集団活動やごっこ遊び(SST)をしながら経験できるような取り組みも行っている。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		個人情報シートを定期的に更新している。アレルギーの把握についても細心の注意を払いながら確認をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		情報共有についてはまだまだ課題があると思います。
非常	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		職員研修の機会なのでKYTトレーニングを実施している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
時 等 の 対 応	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的を実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			